

庭の花木【**のうぜんかづら**（**凌霄花**）】（平成19年6月30日撮影）

夏の晴天が似合う花である。

初めてこの花を知ったのは長野の善光寺の山内（さんない）寺院で、昭和63年の暑い夏であった。大きな巨木に蔓が絡みつき、枝垂れた蔓に陽（ひ）を向いた無数のオレンジ色の花が印象的であった。

思わずお寺の大黒さんに名を問うたところ、「脳天頭（のうてんかつら）」。

もちろん聞き間違いだが、余りの暑さに、父親も私も頭から思い込んでしまった。

数年後、近所の人が育てたのを株を譲ってもらったが、なかなか花が咲かなかった。

咲き始めたのは、この数年である。蔓性の植物で育ち始めると勢力が強く、始末がチト悪い。



（この項、2007.11.18作成）

Copyright (C) 2007 増田信敬 (masuda nobutaka) All rights reserved